

【小学校高学年の部・優秀賞】

命のバトン

うるま市立田場小学校 四年

兼堅 菜乃花

私のおじいちゃんとおばあちゃん
せんそうのたいけんしゃだ
おじいちゃんは へいたいとしてせん
そうに行った
多くの命がうばわれた
おじいちゃんは
ぶじ帰ってこれた
おばあちゃんは
家族といっしょに
ぼうくうごうににげた
せまくて暗いあなの中
ただしずかに身をかくし
そして 自分の命を守った
もし 一人でもかけていたら
お母さんも生まれていない
私の命は
たくさんのリレーでつながっている
だから
命はとても大切なんだ
なぜ せんそうをしたのか
なぜ こんな大切な命をうぼうのか
私は ぎもんだ

今から六十六年前
この日本で

そして

私の住む沖縄の地でも

おきたせんそう

おばあちゃんが話してくれた
せんそうの話しに
こわさやさみしさ
つらさを感じた
なん日もかけて
山原へ にげたこと
食べる物もなく 夜
畑からイモをほって
食べたこと
せんとうきの音におびえながら
にげまわったこと
今でも 世界のどこかで
せんそうが おきている
たくさんの人の
命がうばわれている
こんな
人の命をうぼうせんそうは
いやだ
みんなが幸せになるように
みんなが楽しくくらせるように
せんそうのない
みんながわらっていられるような
平和なよの中にしてい
おじいちゃん おばあちゃんが
いっしょうけんめい
守ってきた命のおもみ

わたしてくれた命のバトン
大切にしたい
私の命もつなげていきたい